

受講生
募集

農林水産省認定

募集人数

20名

農福連携 技術支援者 育成研修

申込
締切

令和8年1月5日(月)15時まで ※時間厳守

第1講座 ▶ 令和8年1月16日(金)～2月2日(月)

第2講座 ▶ 令和8年2月17日(火)～20日(金)

受講料

無料

研修に係る
交通費等は
受講者負担



特別講師

豊田 正博 氏

兵庫県立大学大学院
緑環境景観マネジメント研究科 客員教授/
株式会社プラネット バイオフィリア緑化研究所副所長

博士(農学)。専門は園芸療法、農福連携(作業分析、障害者への
農作業指導)。商社勤務を経て、東京都の農業高校教員時代に、
農業系高校生が園芸療法や動物介在療法を学ぶ科目「生物活
用」の設置に関わる。2006年より2025年3月まで兵庫県立大学

教員。兼務先の淡路景観園芸学校園芸療法課程で250名を超える兵庫県知事認定園芸療法士
を養成。現在も、緑のストレス軽減効果や農福連携関連研究を継続中。農林水産省主催農福連
携技術支援者育成研修講師。日本園芸療法学会認定上級園芸療法士。

<著書>農福連携 人と作業のマッチング・ハンドブック(ひょうご農林機構)、はじめてみよう
園芸療法(家の光協会)、ハーブ大全(小学館)、やさしい花作り入門(西東社)など。



メイン講師

新里 えり子 氏

がらまんファーム代表

コンピュータ関連の仕事を務め、2017年に農家へ転身。農業大
学校で1年間基礎を学び、新規就農者としてのさまざまな困難
をクリアしながら、自然栽培をととした地域密着・社会貢献を
目標にしている。

2020年、農林水産省認定の農福連携技術支援者となる。

他、農福連携技術支援者が担当講師を務めます!

沖縄県で受講できます!

農福連携を通して農業・福祉について学べます

- 農作業の特徴、農業経営のしくみ等
- 農作業における作業細分化、作業割り当ての技法等
- 社会福祉や障害者福祉、障害者雇用に関すること
- 障害福祉サービス事業の仕組み、運営の実務等

第1講座 ▶ 座学研修

第2講座 ▶ 実地研修+グループワーク

【申込条件】

- ・沖縄県内に「農福連携に携わっている方」または
「資格取得後に沖縄県内に農福連携を推進するために活動できる方」
※農業者、障害福祉事業所職員、自治体職員、農業関連組合(JA、花き農協等)、
民間企業等
- ・第一講座(座学研修)と第二講座(実地研修+グループワーク)、修了試験を含む
すべての研修課程を受講できる方
- ・メールでの連絡やファイル送受信などが可能なデジタル環境が整っている方
- ・申込多数の場合、受講できない場合があります。
受講者選考の詳細等についてはお答えできませんので、
ご了承下さい。

詳しい研修内容は
ウラ面をチェック!

農福連携
技術支援者
とは

農福連携に携わる当事者(農業者・障害福祉事業所職員・障害者本人)に対し、農作業での安全面の配慮や障害特性に応じた作業分担等、実践的なアドバイスを行う専門人材のことです。修了試験を含む全ての研修課程を受講し、必要な知識と技能を身につけたと認められる方は研修修了者となり、「農福連携技術支援者(農林水産省認定)」として、現場において実務的な助言をすることができます。

以下の講座を通して、農業現場において関係者に実務的なアドバイスを行う

「農福連携技術支援者(農林水産省認定)」を育成します

※掲載内容は変更になる場合がございます

第1講座 座学研修

【期間】 令和8年1月16日(金)～2月2日(月)

【場所】 ネットワーク環境がある場所にて各自での対応

【時間】 各90分 ※座学⑩のみ3時間となります。

※受講者には受講者専用サイト(YouTube)のURLを送ります。期間中に各自にて受講をお願いします。

はじめに		
農福連携をめぐる情勢(30分) 農林水産省		
座学①	座学②	座学③
農福連携概論 吉田 行郷氏(千葉大学 園芸学研究院 教授)	社会福祉と障害者福祉 朝日 雅也氏(埼玉県立大学 名誉教授)	障害者雇用と障害福祉サービスの仕組み、 関係機関の役割 厚生労働省
座学⑤	座学⑥	座学⑦
障害特性と職業的課題の基礎 若林 功氏(国際医療福祉大学 准教授)	農業と農村社会 石田 一喜氏(農林中金総合研究所 マネージャー)	農作業の一般的な特徴 豊田 正博氏(兵庫県立大学 客員教授)
座学⑨	座学⑩	座学⑪
農作業の流れ 藤田 智氏(恵泉女学大学 副学長)	農業者による農福連携の経営実務 竹内 巧氏(竹内農園 代表)	農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法(事前学習) 豊田 正博氏(兵庫県立大学 客員教授)

第2講座 実地研修+グループワーク

【期間】 令和8年2月17日(火)～20日(金)

	1日目	2日目	3日目	4日目
	令和8年2月17日(火) 場所: 沖縄県立農業大学校(宜野座村)	令和8年2月18日(水) 場所: 沖縄県立農業大学校(宜野座村)	令和8年2月19日(木) 場所: 沖縄県立農業大学校(宜野座村)	令和8年2月20日(金) 場所: NPO法人大夢農場(うるま市) 沖縄県立農業大学校(宜野座村)
8:00				※バスにて見学場所へ移動
9:00	開講式・オリエンテーション (9:00～9:40)	実地研修①(9:00～10:00) 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 ●セルトレイ播種 豊田 正博氏(兵庫県立大学 客員教授)	実地研修③(9:00～10:30) 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 ●果菜類の収穫と出荷調整・袋詰め ●作業室清掃等 豊田 正博氏(兵庫県立大学 客員教授)	事業所見学(8:30～11:15) 障害福祉サービス事業の 運営・実務 石川 哲次氏 (NPO法人大夢 理事長)
10:00	グループワーク(9:40～12:00) 障害特性に対応した 農作業支援技法 新里 えり子氏 (がらまんファーム代表、農福連携技術支援者)	振り返り(10:15～12:00) ＜実地研修①の演習＞ 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 豊田 正博氏(兵庫県立大学 客員教授)	振り返り(10:45～12:00) ＜実地研修③の演習＞ 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 豊田 正博氏(兵庫県立大学 客員教授)	
11:00				
12:00	昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩
13:00	グループワーク(13:00～15:40) 障害特性に対応した 農作業支援技法 新里 えり子氏 (がらまんファーム代表、農福連携技術支援者)	実地研修②(13:00～15:15) 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 ●刈払い機による除草、鎌による除草 くわ等作業 新里 えり子氏 (がらまんファーム代表、農福連携技術支援者)	実地研修④(13:00～15:00) 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 ●福祉事業所における農作業以外の 作業分析と難易度表作成 ●農作業分析との参照 豊田 正博氏(兵庫県立大学 客員教授)	(13:30～15:00) 修了試験
14:00				
15:00				閉講式
16:00		振り返り(15:30～17:00) ＜実地研修②の演習＞ 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 新里 えり子氏 (がらまんファーム代表、農福連携技術支援者)	振り返り(15:15～17:00) ＜実地研修④の演習＞ 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 豊田 正博氏(兵庫県立大学 客員教授)	
17:00				

- 実地研修の最終日に修了試験を実施します。農林水産省は、受講者の修了試験の結果を踏まえて、後日、必要な知識と技能を身につけた者を「研修修了者」として認定します。認定の通知を受けるまでは、「農福連携技術支援者(農林水産省認定)」の肩書きを用いることはできません。なお、認定まで1～2ヶ月程度かかりますので、御了承ください。
- 農福連携技術支援者(農林水産省認定)は、国家資格ではありません。
- 理由の有無に関わらず、受講できない日やコマがあった場合、フォローの講義受講は行わず、その時点で修了試験は受けられません。
- 災害等のやむをえない事情により、研修を延期又は中止する場合があります。その場合、予約した交通機関や宿泊施設のキャンセル料は、受講者又は受講者の所属団体に於いて負担をお願いいたします。



左のQRコードを読み込み、
「農福連携技術支援者育成研修 受講申込フォーム」
にてお申し込みください。

研修に関するお問合せ 受託会社/有限会社アイディー・ブランド

TEL 098-941-3972 (月～金 10:00～16:00)

E-MAIL noufuku@idb-aaa.co.jp